

# 「子供の森」計画

in タイ



子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。2011年、首都バンコクまで達した洪水被害は北部の急激な森林の減少が原因の一つとされています。北部・東北部を中心とした植林活動や自然との共生をテーマに子どもたちへの環境教育に力を入れています。

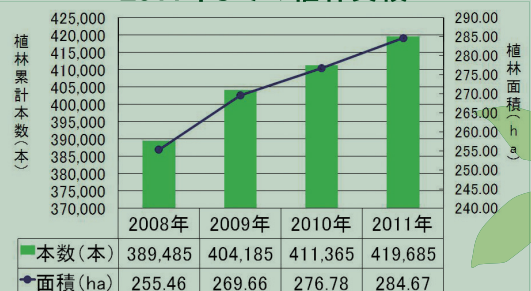


## 2011年の活動

- 2011年は75の学校で重点的に植林活動や環境教育を実施（植林8,320本・面積7.89ha）
- 村人と一緒での森の生態系調査や、水や土などの森の恵みを活かした有機農業の取り組むなど、多角的な環境教育に取り組みました

「子供の森」計画参加学校数(1992年からの累計値) : 181校

## 2011年までの植林実績



## タイ



- ◆人口 : 63,878百万人 (2010年IMF推計値 日本は127,594百万人)
- ◆面積 : 51万4千km<sup>2</sup> (総務省統計局資料2008年値 日本は37万8千km<sup>2</sup>)
- ◆一人当たりGDP : 5,282 US\$ (2011年9月IMF試算値 日本は45,774 US\$)
- ◆森林率 : 37% (2010年FAO公表値 日本は69%)
- ◆「子供の森」計画積極展開地域(丸印) :  
ランブーン、ランパーン、チェンライ、チェンマイ、アユタヤ、チャイナット



タイの活動を支援して下さる方を募集しています。  
ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

➔ 「子供の森」計画情報提供サイト  
[www.kodomonono-mori.info](http://www.kodomonono-mori.info)



ベルマークや書き損じはがきも募集しています。  
ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。  
事務局までお送りください。

事務局



公益財団法人  
**オイスカ**

〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12

☎ (03) 3322-5161 ㊚ (03) 3324-7111 E-mail [oisca@oisca.org](mailto:oisca@oisca.org)

<http://www.oisca.org/>



森の調査やハーブや野菜づくり、  
みんな楽しそうだよ

## 楽しい環境活動

学校では、植林だけでなく、さまざまな環境活動に取り組んでいます。4-6年生は、年に3回ほど森で調査活動を行っています。調査方法を学び木の成長をチェックし、村の大人たちと森に入って動植物の種類や特徴、漢方的な効能がある植物の使い方などを教わります。村の人たちの協力が欠かせないので、学校と村との関係が強まりました。

また、ハーブ作りの活動もしています。ハーブセンターから10kgのクミンをもらって学校で栽培しました。収穫できたクミンのうち、10kgをセンターへ返し、残りを20バツ/kgでセンターに買い取ってもらって、学校の環境活動費に充てることができました。来年は地域へ活動をひろげるために、10軒の家庭へクミンを配布する予定です。

学年ごとに野菜を作る活動もしています。収穫後の野菜は学校の給食用の予算で買い取ってもらい、また次の活動資

金としています。学校では子どもたちから買った野菜で給食を作るので、子どもたちにとっては自分たちの作った野菜も食べられて活動費も自分たちでつくれ、とても楽しい活動となっています。



森の調査活動



学校で収穫したハーブ



はじめての苗木づくりに  
挑戦しているよ

## 自分たちの手で苗木から

この学校は、田舎の山の中にある小さな中学校で、担当コーディネーターの母校でもあります。雨季の6月に、子どもたちと一緒に苗木作りが行われました。今までは、支援金などで苗木を買って植林をしていましたが、子どもたちが自分たちで苗木を作り、その苗木で森ができれば一番いいと考えました。苗木の種類は、学校の森で子どもたちが

ツとマンゴーあわせて250個のポットに種を植えました。北部タイでは、いまだに山を農地として切り開いているところもあり、はげ山が多く見られます。どの学校でも自分たちで苗木を作って植林できるようになれば、ますます森が広がり、はげ山は少しずつ減っていくでしょう。



自分たちでできたよ

果物を食べられるように果樹で大きな実がつくジャックフルーツと、タイで多く見られるマンゴーにしました。稲刈りや農作業に慣れている子どもたちも、苗木作りは初めてで、スタッフの説明に真剣に耳を傾けていました。学校で作っている腐葉土をまぜて苗木用の土を作り、ジャックフルー



苗木用の土作りの説明

## TOPICS

### 子どもたちからのメッセージ

オイスカランブーンセンターでは、近隣の学校から5-6年生20名を集め2泊3日のネイチャーキャンプを行いました。最終日、子どもたちは力を合わせてポイ捨て禁止の看板を作りました。タイではまだ、多くの大人がいたるところでポイ捨てをしています。そんな大人たちに向けて、「僕たちの地球は僕たちが守らないといけない!!」と頼もしいメッセージを発信しました。自然から多くのことに気づき、違う学校の新しい友達と仲良くなり、この短い時間でも、子どもたちは大きく成長できました。それぞれの学校に戻ってからのリーダーとしての活躍が楽しみです。



未来の地球は僕たちが守るぞー!



子どもたちから大人へのメッセージ